

# 府民の森ほしだ園地探鳥会

(毎月第4土曜日両園地通算第267回)

令和5(2023)年5月27日(土) 9:30~15:00頃

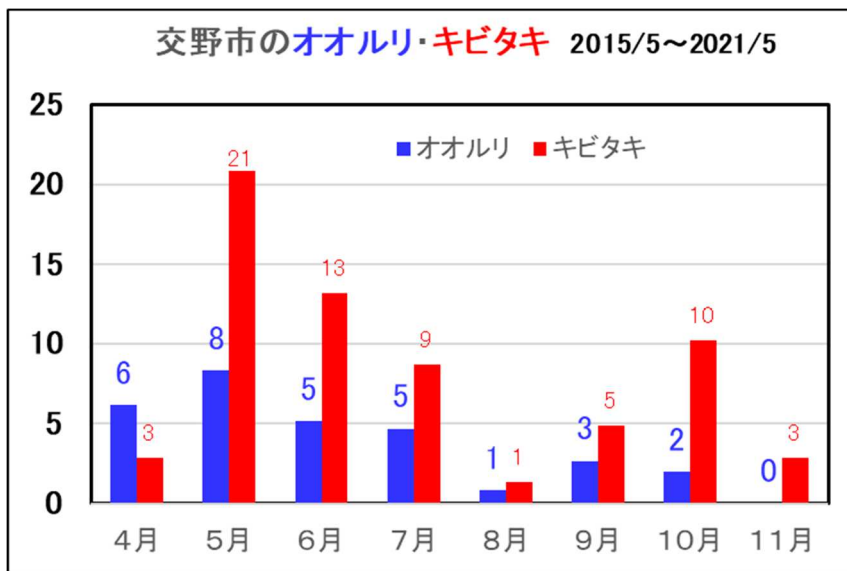
日本野鳥の会大阪支部 友田武・神戸徹・  
近藤輝男・沖光二、平軍二(090-6901-1425)



## I 交野の鳥シリーズ(116) オオルリ (キビタキとの比較)

今月のほしだ園地はハヤブサが出てほしいのですが、ハヤブサ情報が少ないので、代わりに河村壽氏が5/21~22日と、2日続けて交野バードに公開されたオオルリを紹介する。  
→→

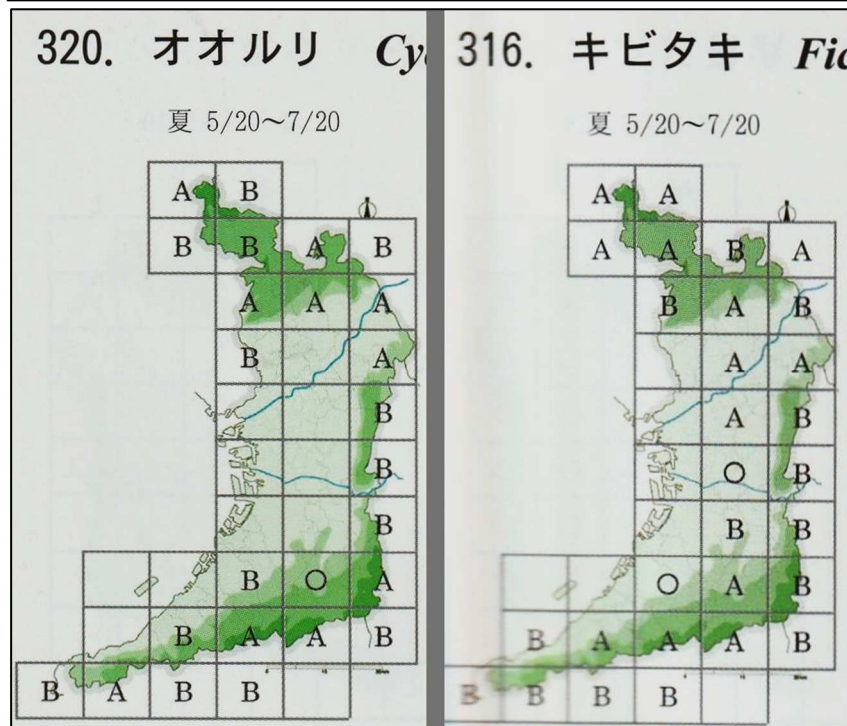
オオルリは4~5月春の渡り時には公園の林で、5~6月繁殖期には近郊山地の樹林中、「日本三名鳥」と名付けられた素晴らしい歌声の夏鳥である。



←友田武氏による交野市データで、夏鳥の代表オオルリ・キビタキについて、各月に観察された日数を並べてみた。

①オオルリは渡りがキビタキより幾分早めのように、4月の観察日数はキビタキより多かった。しかし、②5月になると、キビタキが21日間観察されているのに、オオルリは8日にとどまっており、6・7月も差のついたまま減少することから、両種とも交野市内で繁殖・子育てをしているものの、③オオルリの繁殖数がキビタキより少ないとわかる。

そして④秋の渡り時(9・10月)も、オオルリよりもキビタキが多いことから、⑤年間を通じオオルリより、キビタキが良く観察されている。



←大阪府鳥類目録2016(大阪支部)で、オオルリ・キビタキの繁殖時分布を見ると、交野市などの生駒山地を含め、大阪府の平野部をぐるりと取り巻く山地で両種とも繁殖している。しかし、最近万博公園で繁殖するようになったように、キビタキの平野部への進出が分布図にも示されているが、オオルリは平野部へ進出している気配がない。

## オオルリ

分類:スズメ目ヒタキ科 Blue-and-white Flycatcher *Cyanoptila cyanomelana*

全長:16-17cm 翼長:♂80-97mm ♀72-99mm ぶ臍長:♂14.6-16.8 ♀14.8-16.5mm 体重:♂19.0-23.0g ♀15

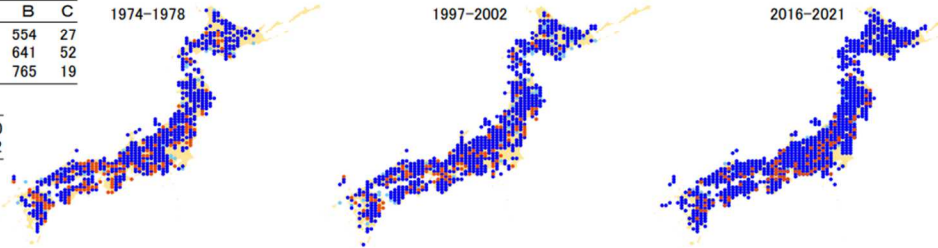
環境省レッドリスト: ー

### 各年代の分布状況の変化

メッシュ数	A	B	C
1974-1978	122	554	27
1997-2002	96	641	52
2016-2021	90	765	19

### 調査地数

1997-2002	890
2016-2021	1002



## キビタキ

分類:スズメ目ヒタキ科 Narcissus Flycatcher *Ficedula narcissina*

全長:12.0-13.5cm 翼長:♂75.9±1.9mm ♀70.7±1.9mm ぶ臍長:♂16.3±0.5mm ♀16.4±0.4mm 体重:♂14.9±0.9g

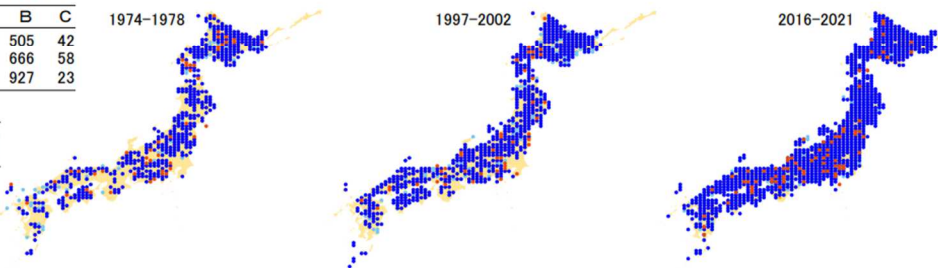
環境省レッドリスト: 情報不足(亜種リュウキュウキビタキ)

### 各年代の分布状況の変化

メッシュ数	A	B	C
1974-1978	48	505	42
1997-2002	44	666	58
2016-2021	80	927	23

### 調査地数

1997-2002	860
2016-2021	1357



←全国鳥類繁殖分布調査結果2021でオオルリを見ると、全国的に繁殖個所が増えている。

一方、キビタキをみると同様に増加しており、しかもオオルリ以上に増加していることがわかる。

先の大分県鳥類目録のデータから類推すると、キビタキの平野部への進出が全国的に起こっていると推定される。

## Ⅱ ハヤブサ最新情報

### ハヤブサ

について最近の状況を河村壽氏に確認していたところ、5/24 ピトンの小屋周辺上空を飛んだハヤブサ(下左)、そして休憩場所である送電鉄塔周辺の姿(下右)が、交野バードに公開された。今年は繁殖個所が更地に整備されたこともあり、ぜひ「**営巣・繁殖を**」と願っていたが、残念ながら4年連続で繁殖しないことがわかった。

しかし、ハヤブサが送電鉄塔から営巣個所を監視していることから、「**来年こそ**」と一年後を期待したい。



← ↓ 20230424ハヤブサ(河村壽)



## Ⅲ 先々月・先月の両園地の探鳥会結果

・**2023/3/25 ほしだ園地** 「ほしだ園地でハヤブサの繁殖」を見るため、2019年に開催月を偶数月→奇数に変更した。しかし、2020年からコロナ禍で探鳥会中止され、しかもハヤブサも繁殖しなくなっていたので、「**今年こそ繁殖期の姿を、と期待している**」ことを説明して、開始した。歩き始めてすぐジョウビタキ、インビヨドリのさえずり、そして私市集落から天野川沿いではツグミのなる木があり、上空を飛ぶツバメの群を観察した。山地に入ってからヒヨドリ、ウグイスの声はするもの鳥は少なく、園地事務所「ピトン小屋」



20230325ハヤブサ (渡辺信義)

トータル35種類となり、まずまずの気分を終えることができた。

に着いても、期待していたハヤブサがいなかった。

コース最高地点(標高220m)の「やまびこ広場」でオオタカ、吊り橋「星のブランコ」上からチョウゲンボウ、更にトビも飛ぶなど猛禽が出てくれた。「ピトンの小屋」へ戻って、営巣予定地の岸壁「哮が峰」の最上段枯れ木にハヤブサを確認、全員がゆっくり観察できた。

昨日の暖かさからうって変わって寒い日になったが、ヤマザクラ・コバノミツバツツジなど早春の里山の花々を見た上、猛禽が4種(ハヤブサ・チョウゲンボウ・オオタカ・トビ)、そして1羽ずつの観察種が10種を超えたことから、ト

### ・2023/4/22 くろんど園地

春の渡り鳥のうちセンダイムシクイ・オオルリ・キビタキの3種は、ともに園地に残って営巣・子育てをする個体があると思われるが、今日は**センダイムシクイ・ディー**といってもいいくらいスタート直後から終了まで良く出て、17羽も確認した。留鳥の**ソウシチョウ**は、先々月までほとんど観察できなかったが、囀りが多く21羽も確認、常連のウグイス25羽、ヒヨドリ23羽と並んで多かった。しかし、サギ・カモなど水辺の鳥が全く観察できなかったことから、トータル種数は21種にとどまった。



20230422センダイムシクイ(渡辺信義)



20230422 オオルリ(平軍二)

## IV-1 今日 5/27ほしだ園地探鳥会

5月ほしだ園地、**ハヤブサ**は繁殖・子育てをしないままシーズンを終えそうであるが、上述の**オオルリ**とともに主役として観察でき、**センダイムシクイ・キビタキ**が絡んでくれると思います。この時期、ホトギスも期待したいです。

## IV-2 次回探鳥会 2023/6/24 くろんど園地 9:30~15:00頃

6月は園地で生まれたヤマガラ・シジュウカラ・エナガ、そしてキビタキも、鳥の子供たちが出てくれることを期待しています。

5月と同様、大阪支部 HP・ホームズからの申し込みをお願いします。

## V 探鳥会記録（ほしだ園地・くろんど園地）

科名	種名	年月日	2023				
			1	2	3	4	5
			28	25	25	22	27
回数No	ほしだ	くろんど	ほしだ	くろんど	ほしだ		
	263	264	265	266	267		
キジ	ヤマドリ	4					
キジ	キジ	5					
カモ	ハクチョウSP	19					
カモ	オシドリ	24					
カモ	オカヨシガモ	26	2				
カモ	ヨシガモ	27					
カモ	ヒドリガモ	28					
カモ	マガモ	30	2		1		
カモ	カルガモ	32	16	2	1		
カモ	ハシビロガモ	34	2				
カモ	コガモ	38	33	4			
カモ	ホシハジロ	42					
カイツブリ	カイツブリ	62	4				
ハト	キジバト	74	2	2	4	1	
ハト	アオバト	78					
コウノトリ	コウノトリ	119					
ウ	カワウ	127			3		
サキ	ゴイサギ	139					
サキ	ササゴイ	141					
サキ	アオサギ	144	2		2		
サキ	ダイサギ	146					
サキ	コサギ	148	5		1		
クイナ	バン	174	2				
クイナ	オオバン	175	1				
カッコウ	ホトトギス	185					
カッコウ	ツツドリ	187					
アマツバメ	アマツバメ	192					
アマツバメ	ヒメアマツバメ	193					
チドリ	ケリ	195					
チドリ	コチドリ	203					
シギ	タシギ	219	1				
シギ	イソシギ	244					
シギ	タマシギ	271	1				
ミサゴ	ミサゴ	339					
タカ	ハテクマ	340					
タカ	トビ	342		3	3	2	
タカ	ツミ	354					
タカ	ハイタカ	355					
タカ	オオタカ	356			1		
タカ	サシバ	357					
タカ	ノスリ	358					
カワセミ	カワセミ	383	3				
キツツキ	コゲラ	390	1	4	4	4	
キツツキ	アカゲラ	393					
キツツキ	アオゲラ	397		1		2	
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401			1		
ハヤブサ	ハヤブサ	407			1		
サンショウクイ	サンショウクイ	412					
カササギヒタキ	サンコウチョウ	418					
モズ	モズ	420	3		1		
カラス	カケス	427					
カラス	ハシボソガラス	435	3	1	3	5	
カラス	ハシブトガラス	436	16	3	14	10	
カラス	キクイタダキ	438					
シジュウカラ	コガラ	441					
シジュウカラ	ヤマガラ	442	1	2	2	1	
シジュウカラ	ヒガラ	443					
シジュウカラ	シジュウカラ	445	5	3	3	3	
ツバメ	ツバメ	457			8	5	
ツバメ	コシアカツバメ	459					
ツバメ	イワツバメ	461			1		
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	72	16	15	23	

科名	種名	年月日	2023				
			1	2	3	4	5
			28	25	25	22	27
回数No	ほしだ	くろんど	ほしだ	くろんど	ほしだ		
	263	264	265	266	267		
ウグイス	ウグイス	464	2	1	20	25	
ウグイス	ヤブサメ	465					
エナガ	エナガ	466	10	10	1	1	
ムシクイ	オオムシクイ	476					
ムシクイ	メボソムシクイ	477					
ムシクイ	エゾムシクイ	479					
ムシクイ	センダイムシクイ	480				17	
メジロ	メジロ	485	21	7	5	4	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492					
レンジャク	キレンジャク	500					
レンジャク	ヒレンジャク	501					
ミソサザイ	ミソサザイ	504					
ムクドリ	ムクドリ	506	9		5		
ムクドリ	コムクドリ	508					
カワガラス	カワガラス	512					
ヒタキ	トラツグミ	514					
ヒタキ	マミチャジナイ	520					
ヒタキ	シロハラ	521	6	1	2	2	
ヒタキ	アカハラ	522		1			
ヒタキ	ツグミ	525	13		10		
ヒタキ	コマドリ	530					
ヒタキ	ルリビタキ	536		2	1		
ヒタキ	ジョウビタキ	540	4	2	4		
ヒタキ	ノビタキ	542					
ヒタキ	イソヒヨドリ	549	2	1	1		
ヒタキ	エゾビタキ	552					
ヒタキ	サメビタキ	553					
ヒタキ	コサメビタキ	554					
ヒタキ	キビタキ	558				2	
ヒタキ	ムギマキ	559					
ヒタキ	オオルリ	561				6	
イワヒバリ	カヤクグリ	566					
スズメ	ニューナイスズメ	568					
スズメ	スズメ	569	45		10	5	
セキレイ	キセキレイ	573	2		3		
セキレイ	ハクセキレイ	574	10	1	1		
セキレイ	セグロセキレイ	575	9		3		
セキレイ	ピンズイ	580	5				
アトリ	アトリ	586					
アトリ	カワラヒワ	587	17	6	7		
アトリ	マヒワ	588					
アトリ	ベニマシコ	592					
アトリ	ウソ	599					
アトリ	シメ	600					
アトリ	イカル	602	10	1			
ホオジロ	ホオジロ	610					
ホオジロ	カシラダカ	617					
ホオジロ	ミヤマホオジロ	618					
ホオジロ	アオジ	624	6	6	4		
ホオジロ	クロジ	625					
キジ	コジュケイ					1	
ハト	カワバト(トハト)		35	2	2	1	
チメドリ	ソウシチョウ					21	
	ムシクイSP						
	タカSP			1			
	マルガモ		1				
観察種数合計			39	25	35	21	
個体数			384	83	148	141	
天候			晴	晴	曇	晴	
参加者			7	16	16	18	